

アートマネジメント人材の育成

武濤 京子(昭和音楽大学音楽芸術運営学科教授)

ライブエンターテインメント業界が成長し、アーツカウンシル等の新組織が各地に設置される今日、アートマネジメント人材の必要性はますます高まっています。本研究会では、昭和音楽大学における人材育成の取組みについてお話しいただき、アートマネジメント人材育成の今後の展望や課題について話し合います。

2019年 **5月19日**(日) **14:00**~16:00頃

名古屋音楽学校

名古屋市中区新栄町 2-9 スカイオアシス栄
(地下鉄栄駅 5 番出口から広小路通を東へ徒歩 5 分)

- 参加費 会員(無料)／非会員(1,000円) ※学生は非会員でも無料
定員 20名(予約優先)
懇親会 終了後、栄周辺で懇親会を予定しています(会費 4,000円程度)。
お申込み 日本アートマネジメント学会中部部会
〒481-8503 北名古屋市熊之庄古井 281
名古屋芸術大学 アートマネジメント研究室内
事務局次長 森川治朗 E-mail j.morikawa.21@gmail.com
部会長 梶田美香 E-mail m-kajita@nua.ac.jp



【武濤 京子】

東京外国語大学卒業後、(財)ヤマハ音楽振興会にて広報、海外コンサート企画運営等を担当。1994年慶應義塾大学アート・プロデュース講座修了。1999年 Roosevelt University Walter E. Heller College of Business AdministrationにてMBA(経営管理学修士)取得。2001年より昭和音楽大学にてアートマネジメント人材育成にかかわる。

【昭和音楽大学】

1986年(短期大学部は1969年)開学。1994年に日本ではじめてアートマネジメントを専門に学ぶ学科(音楽芸術運営学科)を設けて人材育成を本格的に開始した。音楽大学の特徴を生かした実践的な授業を展開し、多くの人材を業界に送り出している。